



2020年10月30日

各 位

上場会社名 株式会社 カワタ  
 代表者 代表取締役社長 白石 亙  
 (コード番号 6292)  
 問合せ先責任者 財務経理部長 原田 恭子  
 (TEL 06-6531-8211)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,000	1,200	1,150	750	105.91
今回修正予想(B)	15,500	△140	△140	△340	△48.74
増減額(B-A)	△4,500	△1,340	△1,290	△1,090	
増減率(%)	△22.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	21,197	1,593	1,639	1,063	150.19

#### 修正の理由

世界経済は、米中貿易摩擦の長期化に加えて、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により急激に悪化し、段階的な経済活動再開に向けた動きは見られるものの、欧米を中心に感染の再拡大の懸念もあり、総じて低調に推移しております。

通期の連結業績につきましては、前回予想時には年度後半の経済活動再開に伴う一定の受注高・売上高の回復を見込んでおりましたが、当初の想定以上に新型コロナウイルスの収束には時間を要するとともに、プラスチック成形関連の製造業の設備投資には慎重な動きが見られ、投資意欲の回復が緩やかなものとなっている状況より、売上高は前回予想を4,500百万円下回る15,500百万円の見込みとなりました。損益面におきましても、新製品の開発・投入やコスト低減・諸経費の削減を図ってまいりますが、売上高の減少に伴う売上総利益の減少、工場操業度の低下に伴う製造固定費単価上昇による売上総利益率の悪化をカバーするには至らず、140百万円の営業損失(前回予想は1,200百万円の営業利益)、140百万円の経常損失(前回予想は1,150百万円の経常利益)となり、更に日本セグメントにおける法人税等の計上等により、340百万円の親会社株主に帰属する当期純損失(前回予想は750百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となる見込みです。

なお、配当予想につきましては、中長期的な需要予測や当社の経営方針・経営戦略、自己資本や資金繰りの現状等を総合的に勘案し、現時点におきましては前回予想から変更はありません。

以上